

身近な問題を次々と質問

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらおうと「中学生議会」が8月24日、市議会議場で開催されました。今年度は、市内10中学校から代表22人が出席。身近な問題から市の将来に関することまで中学生の視点からさまざまな質問が出されました。今回は、そのうちの主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。

東日本大震災における成田市の対応について

中台中学校

義援金の使われ方について

今回の東日本大震災については、成田市でもさまざまな支援を行っていたと思います。また、その活動に参加していた人も多くいると思います。

わたしも、中学校の生徒会本部が中心となつて行われた募金活動や、街頭での募金活動などに参加してきました。それらの活動で集まった義援金などは、被災地に向けて送られ、有効に使われたことと思います。

震災から数カ月が経ちましたが、マスキミの報道などを見ますと、被災地や被災者に対して、まだまだ支援が必要だと思われれます。

これらの活動をさらに行っていくためにも、この活動に参加した、あるいは参加している人たちに、もっと分かりやすく義援金などがどこでどのように使われたのかを具体的に伝えていただくことはできないのでしょうか。これがはつきりとするので、支援の活動は、もっと大きくすることができ、被災者や被災地のために貢献することができると思います。

被災者に対する支援、今後の震災対策について

3月11日に発生した東日本大震災からもう数カ月が過ぎました。しかし、まだ多くの被災者が全国各地で避難生活をしています。

わたしは、新聞やテレビの報道を通じて被災者のつらさを実感しました。その中で多くのボランティアが支援に出向いたり、芸能

人や多くの企業が寄付をしたり、世界中の人々が日本のために救いの手を差し伸べています。

わたしは、募金をすることしかできませんでしたが、成田市では今までに東日本大震災でつらい生活を強いられている被災者に対してどのような支援をしてきたのですか。また、今後どのような対応をしていくのか具体的に教えてください。ただけならと思います。

また今後、関東地方でも大きな地震が起こる可能性があるようにも聞いています。もし、同じような規模の地震が発生し、成田市も同じような被害に遭ったときに、成田市ではどのような準備があり、市民に対してどのような手立てをしていく構想があるのか具体的に教えてください。わたしたちが、日々不安なく生活を送るためにも、



堂々と議長を務めた丸山諒さん(大栄中学校・左)と中野仁暉さん(下総中学校)



ぜひお願いします。

市長

義援金の使われ方について

学校での募金活動や街頭での募金活動により、義援金をお送りいただきまして、本当にありがとうございます。

皆様のあたたかいお気持ちが必要や復興の大きな力になると信じています。

東日本大震災における義援金については、日本赤十字社や中央共同募金会が中心となり、全国規模で義援金の募集が行われています。成田市においても義援金の受け付けを行い、日本赤十字社を通じて被災地へ届けており、また、成田市社会福祉協議会が中心となり、

中央共同募金会を通じて被災地へ届けているところです。

本市におきましては、7月末現在で、日本赤十字社への義援金が2,559万2,283円、中央共同募金会への義援金が158万9,634円寄せられています。

これらの義援金は、全国から日本赤十字社に集められ、義援金配分割合決定委員会の決定した割合で、被災した東日本を中心とする15の都道県に支払われてから、市町村を通じて被災者へ届くこととなっています。

この義援金は、死亡・行方不明住宅の全壊・全焼が35万円、住宅半壊・半焼が18万円と決められており、各被災者へ現金で届けられ、生活再建に役立てられています。

8月19日現在、日本赤十字社、中央共同募金会への義援金は、約3,173億円寄せられており、このうち約2,860億円が被災した都道県に支払われており、最も多い宮城県で約1,368億円です。

しかし、今回被災した都道県や市町村の中には、甚大な被害が発生し、行政機能が壊滅状態となつてしまい、正確な被害状況を把握するのに時間が掛かったり、自宅から遠く離れた場所に避難しているため、地元市町村との連絡がうまく取れない被災者がいることなどにより、全国の被災者へ届いている義援金は、約1,628億円

にとどまっております。

速やかに義援金が届けられるようお願いしているところですが、すべての義援金が被災者へ届けられるには、もうしばらくの時間が掛かってしまうのが実情です。

しかしながら、集められた義援金は、時間が掛かっても間違いなく被災者へ届けられますので、ご安心していただきたいと思えます。また、市としましては、義援金のほかにも、3月23日〜26日、広く市民の皆様から日常生活品を中心とした支援物資も受け付け、263人の方から、段ボール箱で273箱の物資をいただき、千葉県を通じて被災地へ届けました。

さらに、市内のさまざまな団体や個人も、独自で被災地への支援を行っているところであり、大変感謝しているところです。現在、市では、ホテルを生活の拠点としながら、市内で雇用するといった形での避難者の受け入れを行っており、その一環として、市の臨時職員の雇用を行うなど、今後もさまざまな支援を行ってまいります。後とも市民の皆様のご協力をお願いいたします。

被災者に対する支援

原発事故に伴う避難者の受け入れについて、一次避難所としての体育館、ホールなどを確保してほ

中学生からの質問(質問順)

成田高校 付属中学校	成田市の観光について
	① 成田市の観光客増加に向けた取り組みについて ② 成田市観光循環バスについて
成田 中学校	機能的な都市基盤・都市環境について
	① JR成田駅東口再開発の進行状況、区域について ② 成田国際空港の今後について
遠山 中学校	成田市の福祉事業について
	① お年寄りへの情報伝達、独居老人の数について ② 子ども医療費助成の清算手続きについて
久住 中学校	久住の交通安全について
	① 通学路付近の空き地管理について ② 街灯の設置について
下総 中学校	滑河駅周辺の安全確保と治安の向上について
	① 滑河駅への駅員配置、交番の設置について ② 交通整理の人員配置、自転車置場への照明の設置について
西中学校	医療関係について
	① 医科大学の設置、奨学金制度について ② 中学生までの医療費助成の取り組みについて
中台 中学校	東日本大震災における成田市の対応について
	① 義援金の使われ方について ② 被災者に対する支援、今後の震災対策について
吾妻 中学校	成田市の節電対策について
	① 成田市の節電対策について ② 成田市の生活環境に対する考え方について
玉造 中学校	ごみ問題とその対策について
	① ごみのポイ捨て対策について ② ペットボトルの収集日について
大栄 中学校	成田市の産業と育児環境について
	① 第一次産業の活性化、企業誘致の取り組みについて ② 育児環境の充実について

しいとの福島県からの要請を受け、市では、3月18日から中台体育館を、4月11日から旧中郷小学校を一次避難所として選定し、避難者の受け入れを実施いたしました。

現在は、一次避難から二次避難へと対応が移行し、災害救助法の適用に基づきまして、二次避難所としてホテルなどの提供が開始されています。これを受けまして、4月28日をもって市の避難所を閉鎖したところですが、その間、延べ11世帯、38人の避難者を受け入れました。

福島県の避難者の新たな支援策として、成田ホテル業協会の申し入れを受けて、市では、市内のホテルの客室と就労の場を提供する受け入れを開始しております。現在、滞在するホテルなどでの就労



や市の臨時職員として採用を検討しているところです。

今後の震災対策について

市では、地域に係る災害に対する防災対策に関し、市や関係機関の事務のほか、市民などの取るべき措置を明示した地域防災計画を定めております。その内容は、時系列的に災害発生前の「予防」、災害発生直後の「応急対策」、災害発生後の「復旧」の各対策が示されており、この計画に定められている主な対策の一つに、食糧などの備蓄があります。市では、食糧をはじめ、簡易トイレなどを市内17カ所に設置した防災倉庫に備蓄しており、被害想定避難者数や住民の持参率を考慮した数量を算定し、2日分相当の6食分の食糧を目標として、計画的な備蓄に努めております。

しかしながら、大規模災害時においては、すべてを市の備蓄で対応することが困難となることが想定されることから、国・県並びに県内市町村の公的な支援をはじめ、協定に基づいて民間企業などからの支援などにより、物資・機材の調達体制を確保しています。今回の震災では、計画に基づきまして避難住民に対し、食糧をはじめとする応急支援物資を供給す

るため、協定締結機関に対する要請と供給の実施、応急支援物資の搬送のための自衛隊派遣要請を実施したところであります。

一方で、課題としましては、大きな被害が東北、関東地方の広範囲に及んだため、通信の途絶により情報収集に困難が生じ、情報の整理、集約に時間を要したため、情報伝達の迅速性という点においては、課題があるものと認識しています。これを踏まえまして、市民の皆様が迅速に情報が伝達できるように、ツイッターなどの新たな情報ツールの活用を検討するとともに、インターネットなどのメディアを利用することの少ない高齢者などに特化した情報伝達方法に関しまして、検討してまいりたいと考えております。

ごみ問題とその対策について
玉造中学校

ごみのポイ捨て対策

わたしが前に学校の行事の街角クリーン作戦に参加したときのことです。街角クリーン作戦では、わたしたちの住む玉造のごみを集めて回ります。わたしたちがごみを見つげるために歩いている



答弁を真剣に聞く中学生議員

と、はじめに木の根元近くにタバコの吸い殻が何本も落ちていたのを見つけ、とても不快に感じました。その後どんどん先に進むにつれてごみの量が増え、ごみの内容もひどくなっていました。

例えば、「ポイ捨て禁止」の看板がある横で、空き缶が何十本も落ちていたり、木々が生い茂っているところに何の躊躇もなく、ごみ捨て場のように大量のごみがたまっていました。そこには電化製品などの大型のごみもあり、自然を大切にしている成田市がごみの多い市となってしまっているのではないかと先行きが不安になりました。現に富士山が世界遺産に登録されていない理由は、ごみが多いからです。わたしは、普段何気なく通っている道の隅にごみが落ちていたのが分かります。改善せねばいけないなと思いました。

これから、ごみのポイ捨てがなくなれば成田市でパトロールすることはできないのでしょうか。また、僕たち中学生も努力できるような成田市全体でごみをなくすイベントなどがあれば市民全体の意識が高まって良いと思います。成田市は、成田山新勝寺など誇れるものがたくさんあります。しかし、文化の面だけではなく、自然の面にも目を向けてごみをなくすという新たな課題に向かっていければ、さらに良いまちになると思います。

ペットボトルの収集日

成田市成田地区では、「燃やせるゴミ」が週2回、「ビニール・プラスチック類」が週1回、「ビン・カン・ガラス類」は月2回など、収集日が決められています。しかし、1カ月の中にペットボトルを回収する日は設定されていません。イオンや大型スーパーなどでペットボトルのリサイクル回収を行っているリサイクル団体や地域があることは知っています。学校でもリサイクル活動でペットボトルを回収しました。

しかし、月1度でもいいので、ペットボトルのごみ収集日があると、市民みんながペットボトルのリサイクル活動に参加しやすいの

ではないかと考えます。
もちろん、ごみの収集日を増やすだけではなく、まずは一人一人のごみを減らし、家庭から出るごみの量を減らしていく努力が大切だということは理解しています。しかし、日々の生活の中にリサイクルに参加する機会があれば、みんなの意識も高まり、積極的にリサイクル活動を行えるのではないのでしょうか。

市長

ごみのポイ捨て対策

ごみを減らす努力と、捨てるときの工夫もできるようにすれば、きつと美しい成田市になつていくと思います。
月に1度、ペットボトルの収集日を設定していただくことはできないでしょうか。



本市では、国際交流都市、観光都市としての景観を保全するために、平成8年に「成田市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例」を定め、清潔で美しいまちづくりを進めております。
具体的な取り組みといたしましては、5月、8月、12月の年3回全市的な環境美化運動を実施し、昨年度は延べ6万9、700人の市民の皆様に参加をいただいております。

また、本市の玄関口でもあるJR成田駅・京成成田駅周辺を美化推進重点地区に指定し、商工会議所、観光協会、商店街などのボランティアの方々のご協力をいただいで、毎月1回、駅前クリーン運動を実施しています。
そのほかにも、市民と事業者で構成された「なりた環境ネットワーク」と市が主催する、空港周辺道路路美化運動を年2回、印旛沼周辺を清掃する印旛沼クリーンハイキングを年1回実施するなど、環境美化に関する取り組みを行っています。

さらに、不法投棄を防止するため、各地区に不法投棄監視員を配置し、不法投棄の監視や啓発活動を行っております。また、不法投棄が頻発する場所への監視カメラ

の設置、昼夜にわたる巡回パトロールを実施し、不法投棄の防止に努めています。
しかしながら、現状は、心ない人々により、不法投棄が後を絶たず、散乱するごみが日常に見られるという大変残念な状態であることは、市としても十分認識しているところであり、今後ともご提言をいただいた対応を含め、積極的に取り組んでいきます。
市民一人一人がしっかりとした自覚を持って、一緒に取り組んでいきたいと思います。
ペットボトルの収集日について
現在のペットボトルの収集につきましては、旧成田市地区においては、リサイクル運動や店頭回収という方法により、また下総・大栄地区においては、一般収集により市民の皆様にご協力いただいているところであります。昨年度は、市全体で150・2トンのペットボトルが回収され、中間処理を経て衣料品やプラスチック製品などにリサイクルされています。
市では、新清掃工場を建設中であり、新清掃工場の稼働に合わせ、これまでのごみの分別区分を見直し、全市統一した形にまいります。現在は、「燃やせるごみ」、「ビ

ニール・プラスチック類」、「ビン・カン・ガラス」、「金物・陶磁器類」、「有害ごみ」、「粗大ごみ」の6分別ですが、新たな分別区分では、再資源化可能な「紙類」、「布類」を新たに加えるとともに、これまでの「ビニール・プラスチック類」を、「プラスチック製容器包装」と「ペットボトル」に細分化し9分別として、



出席した中学生議員(質問順・敬称略)

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------|------|-----|-----|-----|
| 成田高校付属中学校…川村真美 | 成田中学校…三瓶真裕 | 遠山中学校…日當慶生 | 久住中学校…川嶋愛加 | 下総中学校…深野優 | 西中学校…外山平田 | 中台中学校…中台平田 | 吾妻中学校…塩塚永井 | 玉造中学校…永井富丸 | 大栄中学校…山田平田 | 山田村田 | 山口村田 | 須賀介 | 須賀介 | 須賀介 |
| 川村真美 | 三瓶真裕 | 日當慶生 | 川嶋愛加 | 深野優 | 外山平田 | 中台平田 | 塩塚永井 | 永井富丸 | 山田平田 | 山口村田 | 山口村田 | 須賀介 | 須賀介 | 須賀介 |
| 川村真美 | 三瓶真裕 | 日當慶生 | 川嶋愛加 | 深野優 | 外山平田 | 中台平田 | 塩塚永井 | 永井富丸 | 山田平田 | 山口村田 | 山口村田 | 須賀介 | 須賀介 | 須賀介 |

「ペットボトル」については、月2回の収集を考えています。
分別区分の変更に当たりましては、市民の皆様への十分な周知期間を確保するとともに、「広報なりた」や全世代へのパンフレットの配布などにより円滑な移行を図ってまいります。
※くわしくは市民協働課(☎20-1507)へ。